平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	02	03	07	01
細事業名	橋梁長寿命化事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川戸孝和
土木課	担当者の氏名
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁長寿命化によるコスト縮減を図るため、長寿命化修繕計画を策定する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	長寿命化修繕計画策定の基となる橋梁調査を実施 （L=15m以上の102橋において調査）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	直接的に今年度効果は出てこないが、継続的に橋梁調査を行い長寿命化修繕計画を策定することにより、橋梁の修繕、架け替えに要する経費のコスト縮減が図れる。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	13	5,713		国庫支出金	橋梁長寿命化修繕事業費	2,850
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		2,863
事業費合計		5,713		合計		5,713

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	道路管理者として、道路、橋梁を常時良好な状態に保たなければならないため、長寿命化修繕計画の策定は必要。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路を確保するため必要である。また、業務の発注においても、競争入札等により経費の削減等も図られ、長寿命化修繕計画の策定後は橋梁の修繕、架け替えに要する経費のコスト縮減が図れる。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必要である。
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	橋梁の修繕、架け替えを行うにあたり、必要性、緊急性を認識する上で必要。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	02	03	05	02
細事業名	社会資本整備総合交付金事業（効果促進事業）（平成22年度） 地域活力基盤創造交付金事業（効果促進事業）（平成21年度）					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川戸孝和
土木課	担当者の氏名
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	社会資本整備総合交付金事業を活用し、道路事業と一体となって各種の事業を実施し、道路事業効果を一層高める。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域活力基盤創造交付金事業を活用し、スクールバス、消防車の機能向上整備、宮津和知間有料道路利用補助、無電柱化計画の策定、防災広場整備の実施
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	地域活力基盤創造交付金事業を活用し、道路事業と一体となって事業を実施することにより、道路事業の安心、安全な通行の確保はもとより、地域の活力の向上、活性化が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	0		国庫支出金	地域活力基盤創造交付金	54,440
	11	112		府支出金		
	12	150		起債	過疎・合併特例債	
	13	8,938		分担金・負担金		
	14	0		その他		
	17	56,182				
	18	11,389				
	27	75		一般財源		22,406
事業費合計		76,846		合計		76,846

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	道路事業の効果を一層高めるため、各種の事業を道路事業と一体となり実施することにより双方の事業成果をあげることができるため、達成度は高い。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	道路事業と一体となって実施することにより、双方の事業成果をあげることができ、また、工事発注において、競争入札等により経費の削減等も図られいる

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	道路事業と一体となっての実施事業であり、双方の事業効果の向上のため計画的な実施が必要である。

事業規模の方向性

B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	必要性、緊急性の高い事業より実施し、交付金事業等を有効に活用しながら、両事業の成果向上を図る。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	02	03	05	01
細事業名	社会資本整備総合交付金事業（平成22年度） 地域活力基盤創造交付金事業（平成21年度） 地方道路整備臨時交付金事業（平成20年度）					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川戸孝和
土木課	担当者の氏名
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	社会資本整備総合交付金事業を活用し、市道の通行等に支障が生じている路線において、新設、改良、修繕、除雪を実施し、安心、安全な通行を確保する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域活力基盤創造交付金事業を活用し、市道の改良工事、除雪作業の実施 （道路改良　蒲井旭線、神崎南浜線、郷新田岡線、左坂線、安小西線、千丈敷下沖線） （平成20年度繰越 236,870千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	地域活力基盤創造交付金事業を活用し、市道の改良、除雪作業を実施することにより生活、産業道路の確保、また、安心、安全な通行の確保が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	2～10	4,261		国庫支出金	地域活力基盤創造交付金	218,293
	11	1,712		府支出金		
	12	0		起債	過疎・合併特例債	
	13	13,002		分担金・負担金		
	14	1,500		その他		
	15	309,868				
	17	36,157				
	22	11,789		一般財源		159,996
事業費合計		378,289	合計			378,289

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならないため、達成度は高い。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経費の削減等も図られいる

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必要である。
	事業規模の方向性			
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	必要性、緊急性の高い道路より実施している。交付金事業等を有効に活用しながら、新設、修繕工事等への事業活用が必要。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	02	03	04	01
細事業名	過疎対策道路整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	過疎指定地域において、市道の通行等に支障が生じている路線の拡幅、側溝整備を実施し、安心、安全な通行を確保する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	過疎指定地域における、市道の新設改良工事 （峠線、須田区内線、湊宮線、栃谷口馬地線、島区内線、後ヶ浜海岸線）の実施 （平成20年度繰越 17,651千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	過疎指定地域において、市道の通行に支障の生じている路線を改良することにより、生活、産業道路の確保、また、安心、安全な通行の確保が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	1,054		国庫支出金		
	13	6,223		府支出金		
	15	51,019		起債	過疎対策道路整備事業債(過疎債)	63,000
	17	3,272		分担金・負担金		
	22	1,492		その他		
				一般財源		60
事業費合計		63,060		合計		63,060

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならないため、達成度は高い。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経費の削減等も図られいる

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必要である。

事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	必要性、緊急性の高い道路より実施している。補助事業等を活用しながらの実施が必要。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	02	03	03	01
細事業名	辺地対策道路整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	辺地指定地域において、市道の通行等に支障が生じている路線の拡幅、側溝整備を実施し、安心、安全な通行を確保する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	辺地指定地域における、市道の新設改良工事（市道前川原新治線　峰山町 五箇 地内）の実施（平成20年度 繰越）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	辺地指定地域において、市道の通行に支障の生じている路線を改良することにより、生活、産業道路の確保、また、安心、安全な通行の確保が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	15	14,663		国庫支出金		
				府支出金		
				起債	辺地対策道路整備事業債(辺地債)	14,600
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		63
事業費合計		14,663	合計			14,663

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならないため、達成度は高い。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経費の削減等も図られいる
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必要である。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	必要性、緊急性の高い道路より実施している。補助事業等を活用しながらの実施が必要。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	02	03	01	01
細事業名	道路新設改良事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市道の通行等に支障が生じている路線において、拡幅、側溝整備を実施し、安心、安全な通行を確保する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市道の新設改良工事（16路線）の実施　（平成20年度繰越 290,401千円）（森本工業団地内路線を含む）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市道の通行に支障の生じている路線を改良することにより、生活、産業道路の確保また、安心、安全な通行の確保が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	172		国庫支出金		
	11	652		府支出金		
	13	3,974		起債	道路改良事業債(合併特例債)	333,400
	14	516		分担金・負担金		
	15	344,547		その他		
	17	1,780				
				一般財源		18,241
事業費合計		351,641		合計		351,641

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならないため、達成度は高い。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経費の削減等も図られいる

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必要である。

事業規模の方向性

B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	必要性、緊急性の高い道路より実施している。有利な財源を活用しながらの実施が必要。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	02	02	01	02
細事業名	市道維持補修事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川戸孝和
土木課	担当者の氏名
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市道の老朽化及び経年損耗等により、通行等に支障が生じている道路施設の維持補修を実施する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市道の修繕工事等（162箇所）の実施　（平成20年度繰越 4,190千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市道の老朽化及び経年損耗等により支障の生じている道路施設を補修することにより、安心、安全な通行の確保が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	11	24,086	国庫支出金		
	12	10	府支出金		
	14	801	起債		
	15	7,601	分担金・負担金		
	16	9,915	その他		
			一般財源		42,413
事業費合計		42,413	合計		42,413

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならないため、達成度は高い。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確保のため必要である。

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため必要である。

事業規模の方向性

A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	必要性、緊急性の高い道路より実施している。計画的に行っていかなければならない道路については、補助事業等の導入の検討も必要。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
30-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	01	01	01	
細事業名	土木総務一般経費（補助金分）					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	②　道路ネットワークの整備
	施策方針	2　安全・安心で快適な道路網の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域経済の活性化や雇用の安定を目的として、市内に本店をおく建設業者が行った経営基盤強化、新分野進出の事業に対して補助金を交付する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	2業者に対し、新分野への進出及び経営基盤強化補助
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	2業者に補助したことにより、新分野への進出による雇用の確保、及び、商品価格の抑制により、経営の安定化が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	2,319		国庫支出金		
				府支出金	未来づくり交付金	1,159
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,160
事業費合計		2,319		合計		2,319

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	新分野への進出に補助することにより、雇用の確保が図れ、また、商品の開発等に補助することにより、商品価格の抑制につながり、経営の安定化が図れた。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	補助目的を達成しており、継続的な実施が必要
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	利用のない年度もあり、制度のPRが今後も必要
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	事業利用者は少ないが、1利用者に対する補助額は大きい。予算的なバランスが難しく、現状維持で推移
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	06	01	01	01
細事業名	ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
	施策方針	1　河川・海岸の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	本計画により、歩道連絡橋、駐車場、緑地公園、排水路等の整備を行い、久美浜一区の街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行い、久美浜港周辺市街地の活性化を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	本整備計画の最終となる、トイレの新設工事を実施。（平成20年度繰越 24,852千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	本整備計画の最後となるトイレ新設、今年度は繰越となったがこれまでの整備実施により、久美浜港周辺市街地の活性化が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	33		国庫支出金		
	11	111		府支出金		
	12	1		起債	過疎債	26,400
	13	1,207		分担金・負担金		
	14	120		その他		
	15	24,852				
	19	164				
				一般財源		88
事業費合計		26,488		合計		26,488

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	他事業の街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行うことにより、久美浜港周辺市街地の活性化を図れている。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行うことにより、両事業のコスト縮減が図られている。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
C	A　現状維持	理由	次年度へ繰越完成、終了
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
	A　事業拡大	理由	
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	03	03	01	01
細事業名	河川改修事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
	施策方針	1　河川・海岸の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	災害・事故等を未然に防止するため、河川施設の改修を行う。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市管理河川2路線において、護岸工事及び水門設備設置を実施した。 （久美浜町 家の奥川、弥栄町 在中川）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	護岸の改修及び水門の設備設置を行うことにより、災害・事故等を未然に防ぐことができる。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	13	1,439	国庫支出金		
	15	12,958	府支出金		
	17	470	起債		
	22	1,075	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		15,942
事業費合計		15,942	合計		15,942

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止しなければならないため、事前の改修することは必要。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事前の改修は必要であるが道路事業に比べ事業費が極端に少ない。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	河川管理は、治水・防災に加えて、「市民の憩いと安らぎの空間」としての整備が求められており、更なる計画的な改修が必要。
事業規模の方向性			
A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事業拡大は必要。また、災害復旧事業の採択要件として、日常の維持、管理の状況報告も求められている。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	03	02	01	02
細事業名	河川維持補修事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川戸孝和
土木課	担当者の氏名
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
	施策方針	1　河川・海岸の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	災害・事故等を未然に防止するため、土砂の堆積、堤体の欠損等により通水阻害の生じている河川施設の維持管理を行う。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市管理河川2路線において、護岸の修繕工事を実施した。 （弥栄町 木橋川、久美浜町 新町川）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	護岸の修繕を行うことにより、災害・事故等を未然に防ぐことができた。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
	節	金額（千円）	項目	名称	金額（千円）
予算科目	11	899	財源内訳 国庫支出金		
	14	17	府支出金		
	15	4,775	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		5,691
事業費合計		5,691	合計		5,691

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止しなければならないため、事前の修繕管理は必要。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事前の修繕、管理計画が必要で、道路事業に比べ事業費が極端に少ない。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	河川管理は、治水・防災に加えて、「市民の憩いと安らぎの空間」としての整備が求められており、更なる計画的な修繕が必要。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
A	A　事業拡大	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事業拡大は必要。また、災害復旧事業の採択要件として、日常の維持、管理の状況報告も求められている。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
34-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	04	02	02	02
細事業名	内水処理対策事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑥　上下水道の整備
	施策方針	5　都市下水路の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	網野町浅茂川地区において、公共下水道汚水対策と併せ、雨水を対象とした内水対策を実施する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	日本下水道事業団へ委託し、内水処理施設の実施設計及び施設の用地購入を行う。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	今年度効果は直接的に出てこないが、継続的な実施で効果上昇が図れる。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	2	1,270		国庫支出金	浸水対策下水道事業費	23,000
	11	142		府支出金		
	13	24,354		起債	都市下水路整備事業債	21,800
	14	140		分担金・負担金		
	17	20,115		その他		
				一般財源		1,221
事業費合計		46,021		合計		46,021

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている）	理由	事業を継続的に実施することにより、浸水被害の減少等を図ることができる。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	近年、毎年のように浸水被害が発生しており、継続的に、また、早期に事業を完成させ、被害の軽減を図らなければならない。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持	理由	近年、毎年のように浸水被害が発生しており、継続的に、また、早期に事業を完成させ、被害の軽減を図らなければならない。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

A	A　事業拡大	理由	毎年、浸水被害が発生しており、継続的に、また、早期に事業を完成させ、被害の軽減を図らなければならない。事業拡大は必要。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		